

とんごの丁代

目がさめた 夜中の十一時だ

七日はあれば 立秋 少しは涼しく なると

自分をけがしていいから そんな事をざしは

ない こんどにやつこては おてもいうれ

ない おさあがって お茶をのむ

これでは塩分が多い いそいそでジューズが

糸を耳かきして ひと口がむ

ホとしていたが

姉のことか 新刊 肥后の丁代を

思ひ出し

さそって くれ 一袋でボクニヤクへ行つた

その時 けんごを手にバツとわってわらして

くれん おいしかつた

肝心の姉は素手かつた

またく の姉は知ろんおりていさのん

やさしい いい人だつたのん

西条ハニの やさしき兄がたの の時を

わらしてくれ

ふと そんなことを思ひ出し

ラヂオ番組で「西条ハニシの詩による歌答理が

今夜三時から多分かかるのだ

西条ハニシの詩集 よくよんでいい

とても大層にしていいが 友達にかして

その子にやめてしまつた

そなたをいし木下代かたしてくわたりがのりて

いた

心あつくてわていふれあいのとろぼろ

けさうしやいが

宮坂をたつたころを思い出した

善むかしむかしの一ページ

なつかしいよき時代だつた

2022
8/3